

五小だより 第13号特集

一文字が、景色になった。

—— 田んぼアート『光 2026』完成 ——



6月に田植えをした田んぼに、今年の一文字「光」と「2026」が、見事に浮かび上がりました。9月18日(金)の朝行事に、子どもたち、教職員、そしてこの取組に力を貸してくださった地域の皆様が田んぼの前に集まり、みんなで完成の景色を囲んで記念撮影を行いました。

田んぼをお貸しいただき、季節を通して手をかけてくださった地主の方をはじめ、区長会、赤羽公民館、測量や準備に携わってくださった皆様。その一つ一つの手が重なって、児童会が選んだ「光」が、五小の目の前に大きな景色となりました。心より感謝申し上げます。子どもたちにとっても、自分たちが選んだ一文字が、地域の皆様の手によって本当の景色になったことは、きっと心に残る経験になったことと思います。この一枚には、田んぼアートだけでなく、五小と地域の皆様が一緒につくってきた時間も写っているような気がします。そして、田んぼアートの物語は、まだ終わりません。次は稲刈り、その後には収穫したお米を味わう「収穫祭」も予定されています。田んぼに描かれた「光」が、今度は子どもたちの手の中へ。楽しみは、もう少し続きます。





もう次の楽しみ



1

すごい！
ほんとに“光”だ！

きれいに
見えたね！



2

次は、稲刈りだね。



3



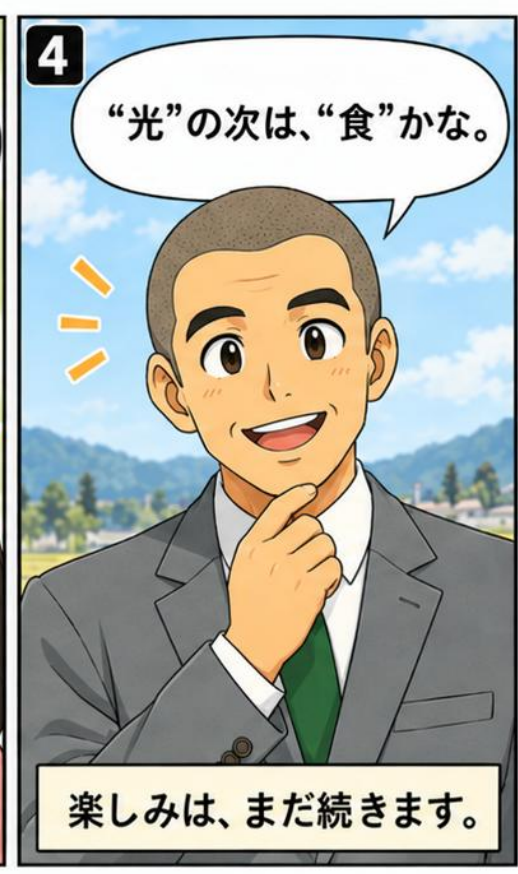
そのあとは、
おにぎり試食会！

そっちも
楽しみ！



4

“光”の次は、“食”かな。



楽しみは、まだ続きます。

五小Webアーカイブ



新しいタブレット端末利用開始！

- デジタルとアナログ、それぞれのよさを生かした学びへ -

9月3日(木)。この2学期から、子どもたちが学習に使用するタブレット端末が新しくなりました。
新しい端末を手にした子どもたちは、早速、基本的な操作や使い方を確認しています。これから授業の中で、調べたり、考えをまとめたり、友達と共有したりするなど、さまざまな場面で活用していきます。
大切なのは、タブレットを使うことそのものではなく、学びに合わせて道具を選ぶことです。タブレットだからできることがある一方で、ノートに書く、実物に触れる、友達と顔を合わせて話すなど、これまで大切にしていた学びにも、それぞれのよさがあります。
デジタルとアナログを上手に使い分けながら、学校で考えたことを家庭でも振り返り、家庭で取り組んだことを次の学校での学びに生かす。そんな学びの循環も、これから大切にしていきたいと考えています。
新しくなったタブレット端末も、子どもたちが自分に合った方法で考え、学びを広げていくための一つの道具として活用していきます。
そして、何よりも…子どもたち一人一人が、自分らしい学び方を見つけていけることを願っています。



日本遺産「里沼」について学ぶ！

- 身近な「里沼」を、いつもと違う視点から -

9月8日(火)。4年生において、日本遺産「里沼」について学ぶ出前授業が行われました。
今回は、館林市教育委員会文化振興課日本遺産推進係から3名の方を講師に迎え、「里沼」についてお話を伺いました。
授業では、写真や地図などの資料が示されたほか、実物の「かなくそ」に触れる機会もありました。子どもたちは、見たり触れたりしながら耳を傾け、身近にある「里沼」をこれまでとは少し違った視点から見つめていました。
知っていると思っていた地域にも、まだ知らない歴史や文化があることを知り、館林について改めて考える時間となりました。
今回の学びは、これから地域について調べたり、実際に回ったりしながら考えていくための一つの手がかりになりそうですね。今日の学びを出発点に、子どもたちの学習がどのように広がっていくのか楽しみです。



正しい動きを教わりました！

- ラジオ体操講習会が行われました！ -

9月11日(金)。今日の朝行事の時間に、ラジオ体操協会から3名の講師の方をお招きし、ラジオ体操講習会が行われました！
本来は校庭で全校児童を対象に行う予定でしたが、あいにくの雨のため体育館に変更。運動委員会の子どもたちと2年生が参加しました。
子どもたちは、腕の伸ばし方や体の動かし方など、一つ一つのポイントを教えていただきながら、講師の動きをよく見て体を動かしていました。
体を大きく伸ばしたり、曲げたり、動きの一つ一つを意識したりすると、いつものラジオ体操も少し違って感じられます。普段何気なく行っている動きにも、それぞれ大切なポイントがあることを知る機会となりました。
今日学んだことは、これから学校でラジオ体操を行うときにも生かしていけそうです。
ラジオ体操は、運動会でも行う予定です。今日教わったことを思い出しながら、みんなで気持ちよく体を動かせるよう、しっかり覚えて本番に臨みたいですね！



3年生「とりせん松原店」へ！

- 見て・聞いて・体験して学びました！ -

9月15日(火)。3年生が社会科の学習で「とりせん松原店」を見学しました。
子どもたちは2つのグループに分かれ、店長さん、副店長さんに案内していただきながら、売り場だけでなく、野菜や魚、肉などを商品として店頭に出るための作業場(バックヤード)も見学しました。
普段、買い物にただでは見ることのできない場所を巡り、「商品がお店に並ぶまで」にどのような仕事があるのか、自分たちの目で確かめていきました。
さらに、4℃の冷蔵庫やマイナス22℃の冷凍庫にも入らせていただきました。中に入った瞬間の温度の違いに驚きながら、商品を安全に保管するための工夫を実際に体感することができました。
目の前にあるものを見たり、そこで働く方から直接話を聞いたりする子どもたちの表情からは、たくさんの発見が伝わってきました。
見学の最後は、お楽しみのお買い物タイムです。ご家族から預かった500円を手に、値段を確かめながら商品を選びました。「家の人に頼まれた小麦粉を買ったよ」「妹のお菓子！」とうれしそうに話す子どもたちの姿もありました。社会科で学んでいる「お店の仕事」が、自分たちの生活とつながっていることを感じる時間になったようでした。
教室で学んだことを、実際の現場で見て、聞いて、体験する。こうした学びには、子どもたちの「なるほど！」を生み出す力があります。今回の見学で見つけたことや感じたことを、これからの社会科の学習にもつなげていきます。
末筆になりますが…子どもたちのために丁寧に案内し、たくさんのことを教えてくださった店長様、副店長様をはじめ、とりせん松原店の皆様、本当にありがとうございました。また、見学に付き添ってくださった4名の保護者ボランティアの皆様にも、心より感謝申し上げます。五小の子どもたちの学びを支えてくださった皆様、本当にありがとうございました！！

五小の『今』はこちら！

五小ホームページ

見て、知って、つながる 五小の毎日

授業や行事の様子

地域とのつながり

お知らせ・予定

スマホでもチェック

館林市立第五小学校

五小ホームページ

https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daigo/

2 学期が始まり、教室や校庭、そして地域へと、子どもたちの学びの場が再び動き始めました。

五小ホームページでは、授業や行事、体験活動の中で見られた子どもたちの様子を、写真とともに随時お伝えしています。

友達と考えを交わす場面、体をいっぱい動かす時間、本物にふれて学ぶ経験など、学校生活の中には様々な学びがあります。

このページでは、ホームページで紹介してきた記事の中から、今月の五小の様子を振り返ります。



陸上記録会に向け練習スタート！

- 20名超の子どもたちが、意欲いっぱいに参加しています -

9月4日(金)。
放課後から、10月6日(火)に行われる「館林市小学校陸上記録会」に向けた練習が始まりました。
練習には、20名を超える子どもたちが進んで参加しています。放課後の時間を使って練習しようと思った子どもたちの姿からは、自分の力を試したい、記録を伸ばしたいという意欲の高さが伝わってきます。
目標は一人一人違いますが、「もっと速く」「もっと遠くへ」「自分の記録を更新したい」と、自分なりの目標をもって練習に取り組もうとする気持ちは同じです。何よりも、自分から「やってみよう」と決めて参加する姿を、とても頼もしく感じます。
これから約1か月。それぞれが自分なりの目標に向かい、練習を重ねていきます。記録だけでなく、自分で決めたことに粘り強く取り組む経験も大切にながら、本番を迎えてほしいと思います。
練習の先にどんな自分と出会うのか——子どもたちの頑張りを、五小みんなで応援しています！



本物から学ぶ書写！

- 十数年続くご指導に感謝 -

9月9日(水)。外部講師の方をお招きし、書写をご指導いただきました。
講師の方には、十数年にわたり、本校の子どもたちの書写をご指導いただいています。毎年こうして五小の子どもたちのために足を運び、直接ご指導いただけることは、本当にありがたいことです。
今日も、子どもたちは講師の話を耳を傾け、目の前で示される筆の運び方をじっと見つめていました。筆の入り方、運び方、力の加減…。実際に書く姿を間近で見ると、伝わってくるものがあります。「本物に触れ、本物から学ぶ」。説明を聞くだけでなく、実際の筆づかいを見て、自分でもやってみる。子どもたちは、教えていただいたことを確かめるように、一画一画、丁寧に筆を運んでいました。
そして、何より印象的だったのは、その真剣な姿です。静かに筆を運びながら、目の前の「書」に向き合う。そして、自分が書いた文字とも向き合う…。そんな時間は、どこか自分自身と向き合う時間にもなっているように感じました。文字を整えて書くことはもちろん、姿勢を整え、よく見て、考え、丁寧に取り組むことも書写の大切な学びです。本物から学ぶ貴重な時間の中で、子どもたちは書くことの奥深さに触れることができました。
これまで長きにわたり、五小の子どもたちの学びを支えてくださっている講師の方に、改めて心より感謝申し上げます。



芸術鑑賞教室開催！

- 心に響くスティールパンの音色 -

9月10日(木)。館林市カルピスホールで、芸術鑑賞教室が行われました。
今回、子どもたちが出会ったのは、ドラム缶から生まれた楽器「スティールパン」。ジブリ作品のメロデーや「アメイジング・グレイス」など、美しく澄んだ音色が会場いっぱいに響きました。
演奏に合わせて手拍子をする場面では、会場が一つになりました。
公演では、スティールパンが生まれたトリニダード・トバゴの歴史も紹介されました。太鼓や竹を使った演奏が制限されて音楽を諦めず、身近にあったドラム缶から新しい楽器を生み出していった人々の歩みに、子どもたちは耳を傾けていました。
最後には、ベートーヴェン作曲「交響曲第9番『歓喜の歌』」も演奏されました。美しい音色とともに、音楽に込められた人々の思いや歴史にも触れる、心に残る時間となりました。



五小の『今』はこちら！

五小ホームページ

見て、知って、つながる 五小の毎日

授業や行事の様子

地域とのつながり

お知らせ・予定

スマホでもチェック

館林市立第五小学校

五小ホームページ

https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daigo/